

合併の枠組みと構想を示せ

議会、住民との合意形成のもとで



阿野 二郎議員

昨年の町長選挙を機に
推進を公約に挙げ、二期
目の当選を果たしたわけだ
が、それも合併推進は公
言したものの合併の枠組
みには一切触れておらず、

県が示す構想案を審議会
が審議し、3月に発表に
なるからと明言を避けて
きた。県が示した構想案
はすでに審議会です承し、
3月定例会の県議会に提
案されて審議中である。
大崎町は県の構想にない
ことが明らかになってい
る。合併を推進する立場
から住民に確かな構想を
示すべきではないか。

県の構想発表を待つて

町長

今回、組み合わせを示
さなかった市町村の課題
や将来展望ということか

ら、大崎町は4番目に列
記してあり、議会や住民
を交えた真剣な検討がな
されることが望ましいと
いうことで、全く構想案
から除外されていること
ではない。この中で組み
入れられて3月末には構
想が発表されると聞いて
いる。

独自の構想を示すべき

阿野議員

3月末の発表を待つて
も本町の枠組み構想は示
されないと。住民は
どこの市町と合併が推進
されるのか、期待して
待つているが、独自の枠
組み構想を示す考えはな
いか。

合意形成のもとで

町長

今、ここではつきりと
言えないが、今後、議会
や住民の皆様と十分に話
し合いをして、合意形成
をはかり発表したいと

思っている。

枠組みの発表の時期は

阿野議員

議会と住民の合意形成
がはかられ、発表できる
時期はいつ頃か。

条件が整えば示す

町長

合併には相手があるの
で、今後、相手方にも配
慮が必要で時期を特定す
ることは出来ないが、話
し合いの中で条件が整え
ば示すことを約束でき
ると思う。

東串良町との合併は

あり得るか

阿野議員

東串良町との合併問題
で、大崎町と合併する
かのような新聞報道がな
されたが、真意を把握し
ているか。

合併は難しい

町長

東串良町から大崎町と
合併してほしいという話
はあったが、「受け止めて
おきます」と、それぐら
いの話だったと思う。そ
の時は、助役・収入役・
総務課長も同席で会って

おり、一人であった事も
話しをしたこともない。
私は特別委員会の中でも
申し上げたが、郡域を越
えた合併はなかなか難し
いと感じ、やはり合併は
大きな枠組みでなければ
いけないという判断であ
る。

鹿児島県市町村合併推進構想[第1次]

○大崎町

大崎町の人口は約1万6千人（平成12年国調）であるが、将来統計人口によると平成32年に約1万3千人、平成42年には1万2千人と県平均を上回るペースでの人口減少が見込まれている。

このため、市町村合併によって規模・能力の充実・強化が図られなければ将来的に行財政基盤の維持や行政サービスの持続的・安定的供給という基礎自治体としての基本的な役割を担うことが困難な状態に陥ることが懸念される。

このようなことから、今後、同町のあり方について、旧法の下での合併協議の経緯、日常生活圏や広域行政圏のつながりなどに加え、隣接する合併市町村における一体性の確立の状況にも十分配慮しつつ、議会や住民を交えた真剣な検討がなされることが望ましい。